

=====
今回のシリーズでは「資産運用や相続・不動産」について経験豊かな
専門家により解説してもらいます。

「老後破産」にならないためには？

5回シリーズの 第1回

著者： ファイナンシャルプランナー
マネープライランニング
小屋 洋一

=====
はやぶさ 第153号を発信します。

【タイトル】「老後破産」にならないためには？

***** 本題 *****

第1回 「老後のマネープランを考える」

今回から5回にわたって、老後の「お金」について考えていきます。
まず初回は「老後のマネープランを考える」と題して、30代～50代
の現役世代の方々がリタイア後の生活を迎えるにあたって、「お金」
の面でどのような準備をしなければならないかを一緒に考えます。

まず最初に、今回は想定するケースとして、

65歳まで現役として企業などで勤務し、65歳以降は退職し、年金支給
を受けながら貯蓄を取り崩しながら生活をする

こととします。

実際には、将来の日本では年金財政の悪化や高齢化の影響を和らげるために、勤労期間の延長（元気で働ける人はできるだけ長く働く）や、年金支給開始年齢の延長（諸外国では67歳～70歳支給の決定が行われつつある）といった対策が行われると考えられますが、その影響はまた次回以降に検討するとして、今回は現在の制度が維持されると想定したケースで考えてみましょう。

まずは、老後の主たる収入になる年金です。2010年の「**国民生活基礎調査**」では1世帯当たり平均で216万円の年金収入があることが分かります。年金収入は各家庭で大きく異なりますが、これを平均家庭と考えましょう。

一方で支出面では2011年の「**家計調査**」で世帯主が70歳以上の家計では食料品83万円、住居（持ち家）20万円、保険医療20万円、教育娯楽30万円、その他133万円、合計286万円（月額約23.8万円）という調査結果があります。

この支出を老後の生活支出の平均として考えると、

収入（年金）216万円－支出286万円＝▲70万円（貯蓄取り崩し）

という結果になります。

平均的には1世帯当たり年間70万円取り崩しながら生活を送ることがわかりました。では後は日本人の平均余命を見てみましょう。

2012年厚生労働省発表の「**平均余命表**」では65歳の男性は18.89年、女性は23.82年となっています。つまり65歳で退職した後、平均的な男性は84歳、女性は89歳まで寿命があるということになります。

今回はやや保守的に65歳から25年間（90歳まで）の生活期間があるとするれば、

70万円×25年＝1,750万円

を65歳時点では準備しておく必要があると言えそうです。

では 30 代～50 代の皆さんはどのようにしてこの金額を準備するのでしょうか？

一つはご自身の退職金予定額をしっかりと把握しておくことです。退職金は「給与の後払い」的な性質の強いお金ですが、あなたの代わりに企業がしっかりと資産形成してくれていたと考えて良いでしょう。

平成 25 年の経団連の調査では 60 歳定年の退職金額が 2,125 万円～2,491 万円、ただし経団連は大企業の調査になるますので、その他企業の調査としては平成 24 年東京都産業労働局労働相談情報センター「**中小企業の賃金・退職金事情 平成 24 年版**」によると 60 歳定年時は 1,113 万円～1,224 万円であることがわかります。

つまり経団連に所属するような大企業勤務の方は定年時の退職金をそのまま 65 歳まで維持しておけば、老後の生活資金として十分であり、その他企業の場合には老後資金の半分程度は退職金があり、もう半分は自力で資産形成をしていく必要があるという事になります。

今計算したのはあくまでも平均的な家計イメージなので、皆さんはこの数字をベースに「うちの会社の退職金や老後の年金はこんな平均ほど出ないのではないか？」

「退職金は老後資金ではなく、住宅ローンの返済にする予定でした」

「自分は持ち家ではなく賃貸なので家賃の 25 年分も上乗せで準備しておこう」

「毎月の支出は 20 万円もあれば十分なので、1,000 万円は少なく見積もれる」

「インフレ率を考慮していないので、インフレ率を 2% で想定しておこう」

といった個々の家庭の事情を踏まえて想定される準備資金を調節してください。

今回のポイントとしては、

- 自分の家庭の老後の生活費イメージを家庭で共有する

- 自分の老後の年金がいくらもらえるのか、退職金がいくらになるのかを事前に把握しておく
- 家が賃貸の場合には、老後の生活費に賃貸料を考慮する

となります。

今回は「**年金は本当にあてになるか**」をテーマにお送りします。

無料で資産運用の相談をしてみたい方はコチラ

↓

<http://abvom.biz/brd/archives/ahwxrr.html>

具体的な老後資金のプランニングをしたい方はこちら

↓（毎月、先着3名様受付限りです）

<http://abvom.biz/brd/archives/oqjjbm.html>

=====

【小屋洋一プロフィール】

個人に対する300件以上の個別相談、大手金融機関でのセミナー、執筆、メディア出演など通し、

『一人でも多くの方に主体的で
楽しい人生を送ってもらえるようにする』

ことを目標に活動。特定の金融機関には属さず
第三者的な立場からアドバイスを行なっている。

資産運用だけでなく相続・不動産に関する
専門知識も豊富なファイナンシャルプランナー。

短期的な利益にとらわれずに、長期的な目線と
全体的な視野からもたらされるアドバイスには定評があり、

会社経営者・弁護士・医師・コンサルタントなど
専門職からも厚い信頼を得ている。

《著書》

◇35歳貯金ゼロなら、親のスネをかじりなさい！
—すばる舎

◇いわゆる「当たり前幸せ」を愚直に追い求めてしまうと、
30歳サラリーマンは、年収1000万円でも破産します。
—東洋経済新報社

=====

***** お知らせ *****

◆ マイナンバー制度導入を検討されている企業様へのご案内です。

マイナンバーの手引書・CDができましたので、発売を開始いたします。

(1) 手順通りやれば誰にでもできる
マイナンバー制度運用手引書 1,000円(税込み) 送料着払い

<目次>

- 1) 推進体制と責任者を決める
- 2) 従業員に説明するとともに、協力を依頼する
- 3) 税理士や社会保険労務士等への業務委託
- 4) 個人事業主取引先のリストアップとマイナンバー提供依頼
- 5) 安全管理措置の実施・・・始業/終業点検の実行
- 6) 保管管理の実施や廃棄等のルール化
- 7) 2016年に実施する課題の準備をする(現法令の場合)
- 8) 付表 MyNa 問診シート

(2) 手引書テンプレート、規程集等 CD 5,000円(税込み) 送料着払い

また、予備調査をご希望の方は、

http://hosbiz.net/pdf/20150527_02.pdf

を開き、「問診シート」をプリントして、必要事項をご記入のうえ、FAXください。

FAX : 03-5832-9404

※ 特にP-マークや品質・環境／情報セキュリティISOを導入済みの企業様には、ローコストでの導入をご提案できます。

=====

◆パートナー会社の(株)I&C・HosBizセンターが、リーズナブルコストで“現状を打破したい!”“はがゆい”ところに手当てする安心と安全の「かかりつけ医」による「ビジネスドック」(企業の健康診断)のサービスを開始しました。詳細は、以下のHPを参照ください。(マイナンバー制度にどう取り組むべきかの診断もいたします。)

<http://www.hosbiz.net/pdf/dm.pdf>

=====

経営特くんゲーム 開催のスケジュールのご案内

「マスター20」、「トライアルゲーム」

詳細は下記のHPを参照ください。

■毎回、熱心な皆さんが参加されています。繰り返し参加されることによって、「経営力」がパワーアップされますとともに、「コミュニケーション力」も体得できます。

■「トライアルゲーム」(初回体験受講)の場合はテキスト代 1,000円

=====

■キットBOXを頒布いたします■

「経営特くんゲーム」に関心があり、トライアルゲームを受講された方、または、これから体験したい方、向けに「キットBOX」と「マネジメント会計3表」（MO、B/S、P/L）等のゲームに必要な表、ならびに、記入方法、戦略・作戦の考え方を解説した「DVD」を添えて提供いたします。

◆購入方法はお問い合わせください。

E-Mail: happy@keiei-tokkunshi.jp

◆価格：定価 70,000 円（税別） 支払方法は、ご相談に応じます。

◆特典

- 1) 「トライアルゲーム」および「マスター20講座」を5回、無料で受講できます。
- 2) 申請いただければ、審査の上、「認定経営特訓士」に登録して頂けます（有料）。
- 3) 更に、インストラクターを目指す方には、特別料金で受講できますので、係までお問い合わせください。

=====

プレゼントのお知らせ

◆「人生に五計あり」の保存版を作りましたので、ご希望の方は、

happy@keiei-tokkunshi.jp

でお申込みください。

折り返し、メールにて送付させていただきます。

=====

一般社団法人 経営特訓士協会（略称：KTGA）

URL <http://keiei-tokkunshi.jp/?mail>

アドレス：happy@keiei-tokkunshi.jp

発行責任者： 理事長 平本 靖夫、 編集： 理事 石川 昌平

配信解除URL：配信停止をご希望の際は、以下のアドレスをクリックしてください。

http://asu12.com/d.php?t=test&m=stone_river@ho